

一単位時間の指導過程 【1時間の学習のながれ】

	筋道を立てて考える過程	個に応じた指導の手だて
つかむ	①意欲化を図る問題提示 ②既習との対比による課題づくり	①算数コーナーの活用 (興味を引き、解決のヒントを含む)
見通す	③結果や解決の方法に対する見通し	②机間指導(○付け法)*、等 ③スモールステップを意識する。 ・ピンポイントの○付けを行う
考える	④算数的活動の積極的導入 ⑤操作、図、式、言葉の統合 ⑥筋道を立てた考えのまとめ方 (ノート指導の充実)	④机間指導(○付け法)等 ⑤スモールステップを意識する。 ・ミニ授業を取り入れる。 ⑥ヒントカードの工夫 ⑦学習形態の工夫(グループ、ペア) ⑧考えの流れや変容を知るための <u>ノートの工夫</u> * ⑨算数的ゲームの取り入れ
みがきあう	⑦ <u>みがきあう視点の明確化</u> * ⑧多様な考え方の意図的指名 ⑨多様な考え方がわかる構造的板書	⑩机間指導、 <u>復唱法</u> *等 ⑪ペア学習による意見交換 ⑫構造的な板書の工夫
まとめる	⑩自分の言葉でまとめる	⑬めあての解決
たしかにする		⑭机間指導(○付け法)等 ⑮コース別練習問題 ⑯個の把握(机間指導や相互評価)
ふりかえる	⑪板書やノートを中心にふりかえる	⑰ふり返りカード(評価を生かす)